SDC PROJECTS

現場の課題やこれから挑みたいテーマを、大学の知と多様な人材とともにかたちにしていく。SDCでは、企業・地域・自治体の皆さまとチームを組み、課題解決や新規事業の創出、地域の活性化に向けたプロジェクトを進めています。目の前の一歩から、次の価値が生まれます。

共創 プログラム



企業と対等な立場で価値創造に関わる実践的なプログラム。
企業が抱える課題の解決や新規事業の創出に向けて、企業・教員（プロジェクトマネジメント人材）・学生が「チーム」を組んで取り組むプロジェクトです。

令和7年度参画企業

株式会社シンギ
アクト中食株式会社
広川株式会社
新和金属株式会社

共創プログラムについて、詳しくはこちら

ひろしま バリューシフトプログラム



都市圏人材を起点に、企業等と新たな価値を創出するプログラム。都市圏を中心に活躍する中核人材を叡啓大学の客員研究員として受入れ、広島県の未来に向け変革を進める企業とマッチングし、企業の抱える経営課題の解決に取り組むことで、地域企業の付加価値の創造と地域活性化を図る半年間の実践型リカレントプログラムです。

令和7年度参画企業

常石商事株式会社
有限会社トラベルボックス広島
広島トヨペット株式会社
東洋電装株式会社
森信建設株式会社

ひろしまバリューシフトプログラムについて、詳しくはこちら

ABOUT PWS

共創が生まれる場所、PWS（プロジェクトワークスペース）

「新たな社会価値を創造する共創の〈場〉」をコンセプトに、叡啓大学1階のPWSを実践教育プラットフォーム協議会※の会員の皆さまに開放しています。企業・自治体・大学など多様なステークホルダーが交わることで、新しい価値が生まれるコミュニティスペースをめざしています。

※ 学生の主体的な学びの実現とそれを通じた社会の発展に貢献するため、本学の実践的な教育に協力いただく県内外の企業・自治体・国際機関等を構成員とする協議会



協議会会員の企業・団体に所属する方なら、どなたでも無料でご利用いただけます。事前予約は不要。Wi-Fiや電源、Web会議用のモニター・プロジェクターを備え、打ち合わせやネットワーキング、イベントリーフレットの掲示などにご活用いただけます。会員向けのイベントも随時開催中。業種や立場を越えた出会いの場が広がっています。

利用案内

開　　場：平日9:00~17:00
（大学行事日・年末年始を除く）
利用対象：協議会に参画する企業・団体等に所属する方
設　　備：Wi-Fi、電源、プロジェクター、モニター等のweb会議用のシステム、ホワイトボード等

PWSについて詳しくはこちら

ABOUT SDC

SDC（ソーシャルデザインセンター）について

SDCは、社会と大学をつなぎ、共創による価値創造を推進する叡啓大学の拠点です。大学・企業・自治体が連携し、それぞれの知見と資源を掛け合わせることで、社会や地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組んでいます。

「叡啓大学へのご寄附やご支援」について

充実した教育やきめ細やかな学生支援を行うために皆さまからのご寄附を募集しています。ぜひ本学の理念をご理解いただき、温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます

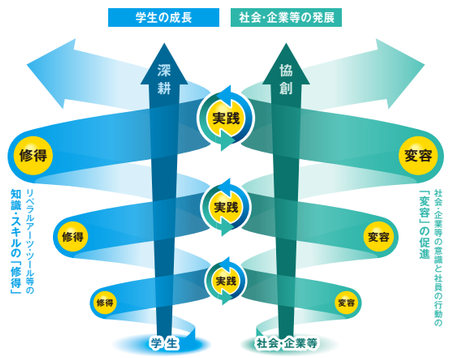
SDCとの連携などにご興味のある企業・地域・自治体の方は、
下記お問い合わせ先よりご連絡ください。

【お問い合わせ先】

広島県公立大学法人　叡啓大学
事務部 価値創造ブランド推進課　社会連携係
〒730-0016　広島市中区幟町1-5
TEL　082-225-6312
MAIL　social-design-center@eikei.ac.jp

コンピテンシー育成 ⇌ 社会課題の解決

「深耕と協創のスパイラル」を叡啓大学が提供することで、学生及び社会・企業等が相互に作用し、双方が成長や発展を加速させることができ、双方にプラスとなる相乗効果を生む。



[学び]のスパイラル

学生が多様な知識・スキルの「修得」と、それを活かして実際に社会課題の解決に取り組む「実践」のサイクルを何度も繰り返す（深耕）ことで、成長を目指す。

[課題対応・価値創造]のスパイラル

社会・企業等が直面する課題を大学との連携で見つめ直し、整理する（「実践」）ことで、新たな視点や解決策を持つことができ、企業等の行動をさらに大きく「変容」させる。このサイクルを何度も繰り返す（協創）ことで社会・企業等が発展していくことを目指す。

SDC Social Design Center
発行月：2026年8月　　叡啓大学ソーシャルデザインセンター
〒730-0016 広島市中区幟町1-5
URL：https://eikei.ac.jp/sdc/

SDC を知る、地域の未来が見える。

SDC insights

2026 August vol.01

叡啓大学 ソーシャルデザインセンター

なぜ広島には、挑戦を後押しする“土壌”があるか

登壇企業の取組で読み解く、“広島だからこそ”の理由。事例でわかる、広島の今

2026年6月26日（金）
「ポスト都市時代の社会デザイン―社会実装都市ひろしま―」出版記念イベントを開催



開催会場：EIKEI TOP（叡啓大学15F ）

2026年6月、叡啓大学に約100名が集結。
次世代の変革者たちが語り合った広島の「いま」を、当日の熱気とともにお届けします。

第1部

未来はなぜ広島から生まれるのか ― 次世代の変革者たちの挑戦



人と人がつながり、広がっていく

―なぜ広島で挑戦するのですか？

谷口氏　広島では、多くの方がお互いを応援し合いながら挑戦を続けています。広島には応援文化があり、人と人との距離が近いのが魅力です。

久保（宏）氏　広島にUターンすることで、あらためて風景の美しさや人とのつながりなど、広島は素晴らしい場所であることに気づきました。



「なぜ世界は平和にならないのか？」という問いを持ち続けています。

特定非営利活動法人
PEACE CULTURE VILLAGE
専務理事　**住岡 健太** 氏



広島には持続可能なビジネスに挑戦できる環境が整っています。

株式会社エイトノット
代表取締役CEO
木村 裕人 氏

住岡氏　世界に行くと、誰もが広島の名を知っています。世界は広島の声を待っている、広島だからこそ挑戦できることがある、と思います。

波多間氏　広島は昔から製造業が盛んです。その広島をデジタルで盛り上げたい、と考えています。

―広島からどんな未来を生み出したいですか？

谷口氏　ピースメモリアル・シティからピースクリエイティブ・シティへ、過去を大事にしながら未来を創造する人を増やしていけたらと思います。

久保（宏）氏　食べることは生きることです。牧場経営を通じて豊かな都市づくりに貢献したいです。

「面白い！」は正義です。挑戦する若い人たちに勢いを感じます。

株式会社モルテン
代表取締役社長 最高経営責任者
民秋 清史 氏



新しい産業を育成し、広島を人が集まるまちにしていかなければなりません。

株式会社
ひろぎんホールディングス
代表取締役会長
部谷 俊雄 氏



挑戦する人たちを面白がる大切さ

―挑戦する人を育むためには何が必要ですか？

民秋氏　私は事業家ですから、そのまちに産業がどれだけあるかは重要な要素だと考えています。まずは生活基盤がしっかりしていてこそ「挑戦したい」と思う人が集まり、クリエイティブな発想も生まれやすくなるでしょう。

部谷氏　産業、観光、スポーツなど、広島は本当に魅力とポテンシャルにあふれていると私も感じます。また、若い人たちの活躍も頼もしく見ています。その個々の力をまとめ、連携することで新たな価値を創造していかなければなりません。



―10年後の広島、そして日本の未来をどう描いていますか？

民秋氏　「世界で勝負する」という視点に立てば、日本を再びハードウェア大国に復活させたいという思いがあります。ハードウェアは、ソフトウェアやAIなどさまざまなものを内包できますから、そこを元気にすることが効果的だと思います。

久保（雅）氏　ビジネスにおいて今やAIは欠かせない要素ですが、最終的にものをいうのは「人」です。AIを上手に活用しながら、横のつながりや幅広い人脈といったものを強みに、広島はどんどん発展していくと信じています。

部谷氏　これまでリスクは排除されてきましたが、これからはリスクを取りながらどうやって利益を出すか、という発想が求められます。そのためには既存の組織も変わっていく必要があります。

横田氏　異なるものが集まることで創造性が発揮されます。そうやって新たなものが生み出されるコミュニティが地方にある、という国のかたちであってほしいと願っています。皆さん一緒に、広島をそういう最先端のまちにしていきましょう。



パネルディスカッション　in EIKEI TOP





つながることで、思いもかけない大きなことができるはずです。

株式会社DoTS
代表取締役社長
谷口 千春 氏



木村氏　広島には有人離島が多く、船の自動運転技術に取り組む当社では、課題発見から社会実装まで一気通貫に行えるメリットがあります。



住岡氏　戦時下の国や地域から来た方をアテンドすることもあるのですが、希望のまち広島のメッセージを発信し続けていきたいです。

波多間氏　広島は技術のまちだと思います。ものづくり2.0のような製造業を活性化する取り組みとあわせて、スポーツ観戦をより楽しめる技術開発も進めていきます。

木村氏　広島で社会実装した水上自動運転技術を、世界へ持っていきたいと考えています。

生まれ育った広島を再発見するほどに愛着がわいてきます。

砂谷株式会社
取締役副社長　**久保 宏輔** 氏



毛利元就が活躍したころから広島はエネルギーにあふれています。

株式会社ビーライズ
代表取締役CEO　**波多間 俊之** 氏



久保（雅）氏　広島は豊かな自然、スポーツなど「宝の山」です。若い人たちが熱量を持って挑戦したいと思える題材がいっぱいあります。そこで挑戦する人と人との接点をいかに作るか、ということが大事になってくると思います。

横田氏　チャレンジする人たち、あるいは新しいものやサービスを、周りが面白がって「応援しよう」と思う土壌も重要ではないでしょうか。広島にはそれがありますし、そういうものを見えるようにしていくのも大事だと考えています。

ほかの日本の都市と比べても、広島はまれに見る魅力的なまちです。

株式会社
サンフレッチェ広島
代表取締役社長
久保 雅義 氏



首都圏と地方の関係をアップデートさせていきたい、と考えています。

広島県知事
横田 美香 氏



詳しい内容は書籍をご覧ください



【関連書籍】
MIT Technology Review［日本版］
特別編集
ポスト都市時代の社会デザイン
社会実装都市 ひろしま
発売日：2026年5月29日
地方にこそ、実践の場がある！新たなビジネスの種を社会実装した事例を紹介

SDC insights
August 2026

第2部

未来はなぜ広島で育つのか ― 共創が育む地域の力